

第1回 シンポジウム

医療と ジェンダーの歴史 研究会

Medical and Gender
History Research Group



横田 冬彦



大出 春江



松岡 悦子



宝月 理恵



藤本 大士

12.17

2023 sunday

【開催場所】

奈良女子大学本部棟1階
「奈良カレッジ交流テラス」

参加無料

 一般参加者は
オンラインにて
要事前登録

10:30~10:40	主旨説明 鈴木則子(奈良女子大学教授)
10:40~11:40	横田冬彦(京都大学名誉教授) 「近世～近代における妊産婦死亡率について」
11:40~12:40	大出春江(大妻女子大学名誉教授) 「出産の医療化と社会環境— 近代日本の雑誌メディアから考える」
12:40~13:40	休憩
13:40~14:40	松岡悦子(奈良女子大学名誉教授) 「アジアにおける出産の近代化 —伝統文化から安全性へ」
14:40~15:40	宝月理恵(お茶の水女子大学准教授) 「近代日本における衛生とジェンダー:母子関係を軸に」
15:40~16:00	休憩
16:00~17:00	藤本大士(ハイデルベルク大学助教) 「戦前の日本人女性医師による東南アジアでの活動」
17:00~17:05	閉会の辞 三成美保(追手門学院大学教授、奈良女子大学名誉教授)

主催 医療とジェンダーの歴史研究会(代表 鈴木則子(奈良女子大学))
共催 ・科研基盤研究C「疫病経験の生活史～幕末コレラ史料を素材に」
(研究代表者 鈴木則子)
・科研基盤研究B「アジア・ジェンダー史」の構築と「歴史総合」教材の開発」
(研究代表者 三成美保)
・奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター

お申込は
こちら

要事前登録 12月15日(金) 14:00 締切

QRコードが読み込めない場合はこちらから
<https://forms.gle/vhF9QfZsbFaX7h1a6>

